

在学生アンケート2019に基づくフィードバックコメント

No.	質問・意見	フィードバック
白山-1	京北門の開放時間を長くしてほしいです。	京北門については、当該地域住民との間で通行時間帯の申し合わせに基づいて運用しています。歩行マナー（大声、ゴミのポイ捨て、喫煙、横並び歩行やスマホながら歩行による通行妨害など）苦情が多く寄せられる区間です。歩行マナーの改善、西門（6号館門）の分散利用を推進していますのでご協力願います。
白山-2	南門をせめて18時半まで退構可にしてほしいです。	南門についても、南門付近及び南門にいたる地域住民との間で通行時間帯の申し合わせに基づいて運用しています。歩行マナーが課題となり通行時間帯を設定せざるを得ない状況にあります。西門（6号館側）の分散利用を推進していますのでご協力願います。
白山-3	白山神社内の通り抜けを許可してほしいです。	白山神社の通り抜けについても、神社内での本学学生の事故や歩行マナー問題があり、白山神社周辺住民との申し合わせによって通り抜け不可となってしまう状況です。ご理解願います。
白山-4	白山駅周辺の道幅を広げ、学生ならびに一般人が往来しやすいようにしてほしいです。帰り道に警備員を配置しないでほしいです。	道幅の拡張については、物理的な問題として不可能ですが、誘導警備員を配置して交通整理を行っています。混雑緩和対策として地域住民からの強い要望もあり配置しているものです。誘導員指示のご協力をお願いします。
白山-5	白山駅から南門までの道での学生マナーが悪く、片道通行と注意されているにも関わらず、それを無視して進む学生が少なくありません。大学に対する近隣の評価が下がるため、厳格に対処してほしいです。	白山駅周辺の混雑緩和は、大学と近隣住民の方々との大きな課題です。通学時の混雑は仕方のない現象で、誘導警備員を配置し、交通整理することで近隣の方々の一定の評価を得ています。白山キャンパス周辺は住宅街で、本駒込駅からの通学も指定した通学路の利用をお願いしています。通学時の歩行マナー（大声、ゴミのポイ捨て、喫煙、横並び歩行やスマホながら歩行による通行妨害など）の苦情については少なくない状況です。歩行マナーの改善を引き続き推進してまいります。また、キャンパス周辺の混雑緩和策として西門（6号館側）の分散利用を推進していますので併せてご協力をお願いします。
白山-6	セキュリティについて、盗難が多発しているのにそれに対する予防がなされていない気がします。	残念ながら学内においても盗難が連続して発生することがあります。警備員の学内巡回強化や防犯カメラの増設など、抑止力の効果として対策しているところです。学食、教室などにおいて荷物の放置が見受けられますが、貴重品は必ず持ち歩くなど学生の皆さん自身での予防徹底もお願いいたします。
白山-7	学内に自動販売機をもっと設置してほしいです。	設置スペースとの兼ね合いを考慮しつつ、引き続き検討します。SDGsに関連して、本学もゴミ排出量削減を目指します。学生の皆様にも水筒の持参など、環境面にも配慮した取り組みにご協力いただけると幸いです。
白山-8	トイレが混雑しているため、個数を増やしてほしいです。特に特に女子トイレや多目的トイレを増やしてほしいです。また、和式便器をなくしてほしいです。	トイレの混雑について、故障箇所の改修を順次進め、使用できるトイレの個数を保ちます。和式から洋式への切り替えは、和式利用者に留意しつつ、利用者の多い階より進めます。多目的トイレについては、皆様の要望を基に今後検討させていただきます。
白山-9	喫煙所を増やしてほしいです。/撤去してほしいです。	喫煙所について、受動喫煙防止の対策として、健康増進法の施行と合わせ、2019年夏に法令に沿った喫煙スペースを整備しました。
白山-10	学内の混雑について対応してほしいです(エレベーター・エスカレーター・廊下・階段)。	エレベーターは、群管理システム（＝リアルタイムで運行状況を集集し、全体で効率的になるよう停止階に割り当てるシステム）を導入しています。ドアの開閉時間設定を、運行状況により見直しました。5号館エスカレータの混雑については、2列で乗るようお願いいたします。また、白山キャンパスの学生数は2017年度をピークに減少していますが、スマホの確認で歩みが遅くなるケースが見受けられます。安全面からも歩きスマホは止めてください。
白山-11	空調管理について、寒すぎます。/暑すぎます。	空調運転については、中長期天気予報や日々の外気温を参考に運転計画を立案しています。旧型機より空調の更新を進めています。
白山-12	学食の座席を増やしてほしいです。(6号館)	学食の座席については、毎年見直しており、現在は約1,300席あります。座席をさらに増やすことは、食堂のキャパシティ上難しい面もありますが、什器レイアウトも工夫をし、より使いやすい環境を整えていきたいと考えています。また、席取りは禁止し、昼食時は譲り合って利用していただくよう皆様をお願いしております。

No.	質問・意見	フィードバック
白山-13	他行など、ATMの設置台数を増やしてほしいです。	現在、銀行はコンビニや銀行店舗内などでの他行との相互利用を促進しており、今後継続して利用者の増加が見込めるところ以外は、ATMの設置を抑制、キャッシュレス化への対応にシフトしているとのことで、新規の設置は難しい状況です。本学でも証明書発行機に交通系カードの利用を導入しましたが、キャッシュレス化については、今後とも検討をしていきます。
国際-1	学部に関係なく、国際交流のプログラムを増やして、支援をしてほしいです。	国際教育センターでは、学部・研究科を問わず東洋大学の学生であれば誰でも参加できるプログラムを多数用意しています。詳細は、国際教育センターウェブサイトおよび「国際交流・国際教育プログラム」パンフレットをご覧ください。 ・国際教育センターウェブサイト（国際交流プログラム） https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/iedp/iexp/ ・国際交流・国際教育プログラム2020 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ 今後も学生の皆さんのニーズに沿ったプログラムの充実を図ります。
国際-2	留学生との交流の場を増やしてほしいです。	国際教育センターでは、日本人学生と留学生が交流できるプログラム（ECZやLEP等）を実施しています。今後も学生の皆さんのニーズに応じたプログラムを展開していきます。 ・ ECZ https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/iedp/iexp/ecz/ ・ LEP https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/iedp/iexp/#lep
国際-3	留学後のアフターフォローをしてほしいです。また、就職以外で留学経験を生かせる場について、教えてください。	留学後のオリエンテーションにおいて留学経験を活かしたキャリア計画や就職活動等について考える機会を設けていますので、お気軽に相談してください。また、交換留学等の長期留学から帰国した学生が主体となって、学生団体（Toyo Gem Stone）を組織し、海外から短期間受け入れている留学生のサポートを行っていますので、ぜひ参加してください。
国際-4	所属学科ではTGL対象の科目が少なく感じます。	学部で開講している科目に加えて、LEAPや留学による単位認定も対象となりますので、ぜひご検討ください。また、TGポイントの対象となるイベントやTGLキャンプは、どのキャンパスの学生でも参加できるよう多くの機会を設けているため、ぜひ参加してください。
国際-5	留学中の学生の学費の支払いを免除してほしいです。	留学中も、本学での在籍状態は「在学」となるため通常どおり学費を納入いただく必要がありますが、中長期留学の場合、原則として全員へ奨学金を給付しています。 ・ 交換留学奨学金／認定留学奨学金 →年間授業料相当額（1年間留学）・年間授業料の半額（1学期留学） ・ 協定校語学留学 →語学力に応じて、年間授業料の4分の1相当額 ※一部学部主催の中長期留学の場合、学部独自の奨学金が適用されます。 詳細は、国際教育センターウェブサイトで確認できます。 https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/ies/scholarship/international-scholarships/

No.	質問・意見	フィードバック
国際-6	白山キャンパスの国際交流関係のイベントに、他のキャンパスから参加しにくいです。	新型コロナウイルスの影響により、2020年度は説明会や各種プログラムをオンラインで実施していますが、コロナウイルス終息後も、すべてのキャンパスの皆さんに多くの機会を提供できるようオンライン説明会の実施等を行っています。 また国際教育センターでは、オンラインで留学相談（留学カウンセリング）を実施しています。国際教育センターのウェブサイトより予約ができますので、ぜひ利用してください。 ・留学カウンセリング予約 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku-counselling/
国際-7	国際教育センターを相談に行きやすい雰囲気にしてほしいです。	学生の皆さんが安心して相談できるよう窓口での対応等改善に努めます。
国際-8	留学生にもっとサポートをしてほしいです。	国際教育センターでは、日本人学生、留学生にかかわらず留学支援や語学教育支援を行っています。各プログラムの詳細は、「国際交流・国際教育プログラム2020」パンフレットをご確認ください。 ・「国際交流・国際教育プログラム2020」 https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/ies/
国際-9	ECZに興味があるのですが、入りにくい雰囲気だったためを改善してほしいです。また、その他に英語を学べる環境を作ってほしいです。	ECZでは、スタッフが定期的にイベントやアクティビティを企画しています。初心者向けには、「Beginner time」の時間を設けて、簡単な英語を使ったアクティビティ等実施しています（2020年度はオンラインで実施しています。）。いただいたご意見を活かし学生の皆さんが留学生との交流を楽しめる場にできるよう改善していきます。 ・ECZ プログラム紹介ページ https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/iedp/iexp/ecz/ また国際教育センターでは、課外講座として、「話して学ぶキャンパス内留学 Toyo Achieve English」を開催しています。楽しみながら自然に英語を学ぶ環境で、スピーキング、リスニングを中心にライティング、リーディングも学べる1クラス4名程度の少人数制英会話講座。キャンパス内で授業が受けられるので、授業の空き時間を有効に使って自分でスケジュールを組むことができます。自分の希望に合った授業を受けたい！という方のためには、マンツーマンレッスンも用意。レッスン内容も自由にカスタマイズできます。 ・「Toyo Achieve English」 https://www.toyo.ac.jp/site/ipo/334946.html
国際-10	費用の面で、留学の支援をしてほしいです。	海外留学を支援する奨学金制度として、プログラム毎の奨学金のほか、他大学には類を見ない「東洋大学海外留学促進奨学金」があります。この奨学金は、給付型で返還する必要がなく、語学力（TOEICなどの語学スコア）に応じて給付額が設定されています。短期の語学研修から1学期または1年間の交換・認定留学、海外ボランティアやインターンシップ、学部主催の専門研修など、多種多様な留学が本奨学金の対象になっています。詳しくは、下記本学Webページを参照してください。 「海外留学のための奨学金について」 http://www.toyo.ac.jp/site/ies/10022.html また指定されたプログラムについては、日本学生支援機構（JASSO）による海外留学支援制度（給付型奨学金）を利用することも可能です。
国際-11	日本語の授業は必修とすべきでないと思いますし、時間割についても検討してほしいです。また、アクティブラーニング型の授業を増やしてほしいです。	日本での生活を経験するだけでなく、他の専攻や科目を深く理解するために、日本語と文化を学ぶことは留学生にとって非常に重要であると考えています。また、国際教育センターは、留学生に日本語と文化への理解を深めるために、いかに効果的な学習を提供できるか、日本語科目の授業時間割の柔軟性についても検討いたします。

No.	質問・意見	フィードバック
国際-12	英語以外の言語習得の支援をしてほしいです。	現在、国際教育センターでは、学生の英語力強化のため、英語資格試験講座等を課外講座（有料）として実施しています。現在は、中国語、フランス語、スペイン語等の第二外国語の「課外講座」は開講していませんが、外国語学習を支援するため、今年度より英語以外の語学検定試験を受験した学生に対し、検定料の半額を大学が補助しています。詳しくは、国際教育センターのWebページを参照して下さい。 「外国語資格試験の検定補助」 https://www.toyo.ac.jp/site/tt/348379.html この他、各言語の語学力アップのプログラムとしては、夏季や春季休暇期間を利用して参加できる、海外短期語学研修が本学の協定校で実施されています。これらの研修は「海外留学促進奨学金」の給付対象にもなっていますので、各言語の語学力アップに向けて参加をお勧めします。 「協定校主催短期プログラム」 フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語など http://www.toyo.ac.jp/site/ies/khotei-summer.html ※現在はコロナ禍により海外への渡航が難しいため、オンラインプログラムの紹介等を行っております。
国際-13	Diversity Voyageを全学部卒業必須科目にしてほしいです。	研修の受入体制の問題もあることから、全学部の必修とするのは難しいですが、学生のニーズに応じて実施コースを年々増やしています。また「Diversity Voyage」に限定せず、異文化理解や多様性を学ぶことができるプログラムを今後も検討していきます。
国際-14	I would love to see some improvement for foreign students. Like seminars for foreign students etc. 【参考和訳】 留学生のために改善してほしいことがあります。例えば留学生向けセミナーなど。	IAO will create more opportunities for international students to learn Japanese cultures and also to learn with Japanese students. 【参考和訳】 国際部は、留学生が日本文化を学んだり、また日本人学生と一緒に学ぶ機会をさらに増やします。
国際-15	交換留学先のレベルが低いように感じます。もっと高度な大学にも優秀な学生が留学できるようにしてほしいです。	本学の協定校のうち、約17%が世界ランキング500位以内の大学です。交換留学先となる海外の協定先については、本学の学生の学習分野やニーズに応じた大学と学生交換協定を締結できるよう今後も取り組んでいきます。
国際-16	留学カウンセリングが円滑になるように、事前予約専用のサイトを設けて、1人あたりの相談時間を十分に確保してほしいです。また、定期的に概略を説明する説明会を開催してほしいです。	留学カウンセリングは、以下より事前予約が可能です。また1回の相談時間は20分としていますが、相談回数の制限はありません。プログラムの説明会等も今後も定期的に開催していきます。 ・留学カウンセリング予約 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku-counselling/
国際-17	語学教育を重視してほしいです。	国際教育センターでは、学生の英語力強化のため、英語資格試験講座等を課外講座（有料）として実施しているほか、団体受験制度を利用した語学試験を実施しています。 ※2020年7月現在、コロナ禍により上記プログラムはオンラインで実施しています。 現在は、中国語、フランス語、スペイン語等の第二外国語の「課外講座」は開講していませんが、外国語学習を支援するため、今年度より英語以外の語学検定試験を受験した学生に対し、検定料の半額を大学が補助しています。詳しくは、国際教育センターのWebページを参照して下さい。 「外国語資格試験の検定補助」 https://www.toyo.ac.jp/site/tt/348379.html
国際-18	Diversity Voyageに留学奨学金(外部語学検定試験のスコアによって大学から出る奨学金)を適用できるようにしてほしいです。	Diversity Voyageは、参加する学生の皆さんは個人にかかる費用（旅費、宿泊費、食事代等）のみの負担で済むようプログラムの実施経費をすべて大学が負担しています。そのため、奨学金対象外となっています。
国際-19	国際系の学部以外でももっと留学に行きやすいように説明等の機会をいただけるとありがたいです。	新入生オリエンテーション実施期間や学期中に留学説明会等を随時実施しています。また、年に2回留学に関連する情報を提供する留学フェアも実施していますので、ぜひ参加してください。

No.	質問・意見	フィードバック
国際-20	I wish there were more classes that could be attend both Japanese students and international students. 【参考和訳】 日本人学生と留学生の両方が参加できるクラスがもっとあればいいのに と思います。	We will make efforts to provide more courses that internationa students can take. 【参考和訳】 留学生が受講できるコースの充実に努めます。
国際-21	日本語トラックの留学生に対する支援が、英語トラックの留学生への支援と比べて、少ないと感じました。	本学には、留学生を支援するための奨学金制度が目的に合わせて複数あります。英語トラックの学生のみならず、日本語トラックの学生への奨学金制度も用意しています。 ・外国人留学生奨学金 https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/academics/student-support/award/award-ssa/
国際-22	英語が得意ではない学生向けにも奨学金を貰えるように、ハードルを下げてほしいです。	「東洋大学海外留学促進奨学金」制度は、英語だけでなくその他の言語でも語学力に合わせて奨学金を支給しています。多くの学生に留学に参加してほしいと考えていますが、留学による学びの成果を最大化するためにも、留学前の語学学習にもぜひ注力していただきたいと思います。Diversity Voyageは、参加する学生の皆さんは個人にかかる費用（旅費、宿泊費、食事代等）のみの負担で済むようプログラムの実施経費をすべて大学が負担しています。
国際-23	英語圏以外の留学先を増やしてほしいです。	現在、国際教育センターでは、世界各国の大学など215の教育機関と協定を結び、137大学等と学生交換協定を締結しています（2020年6月30日現在）。交換留学や認定留学先は、英語圏のみならず中国語、韓国語、その他各国の言語による留学が可能です。短期海外研修Diversity Voyageは、アジア各国で現地学生と共にフィールドワークを実施しています。ぜひ参加してください。
国際-24	自由に受けられる語学試験と学部で受けなければいけない語学試験の日程を変えてほしいです。	学生の皆さんができるだけ多くの受験機会を得られるよう各学部と試験日の調整等を行います。
国際-25	国際教育センターの説明会の日程を分かりやすく配信してほしいです。	国際教育センターで実施する説明会等のスケジュールはgoogleカレンダーで確認できるように徹底します。
国際-26	長期休暇期間に説明会などを開催しないでほしいです。	留学の説明会は、学期中を中心に実施していますが、各プログラムの出願スケジュール等を踏まえて、一部夏季・春季休暇期間にも実施しています。なお、2020年度はコロナ禍によりオンラインによる説明会等を実施していますので、ぜひご参加ください。
国際-27	I think the system to do most things is quite complicated. More English services should be provided, and I would love to see career development support in English and more opportunities for English speakers. 【参考和訳】 ほとんどのことを行うためのシステムが非常に複雑だと思います。もっと英語のサービスを提供し、英語によるキャリア支援や留学生のための支援の機会を増やしてほしいです。	Career Support Room for Internatilnal Students(located on 2nd floor of Hakusan Campus) provide many supports such as internship opoortunities and learning opportuniies of Business Japanese. 【参考和訳】 白山キャンパス2階にある「留学生キャリア支援室」では、インターンシップの機会やビジネス日本語の学習など、様々な支援を行っています。
国際-28	外国人にも相談しやすい環境を作ってほしいです。 there are still lot of things that need to be changed or maintained so i hope every foreign students would be satisfied 【参考和訳】 まだまだ変更やメンテナンスが必要な点がたくさんあり、すべての留学生が満足できるようにしてほしいです。	学内の他部署とも連携しながら、留学生の皆さんが相談しやすい環境づくりに努めます。国際教育センターでは、日本人学生、留学生にかかわらず留学支援や語学教育支援を行っています。各プログラムの詳細は、「国際交流・国際教育プログラム2020」パンフレットをご確認ください。 ・「国際交流・国際教育プログラム2020」 https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/ies/
国際-29	給付型の奨学金を留学に行く前に支給してほしいです。	留学に関する奨学金のうち、交換留学奨学金、認定留学奨学金、協定校語学留学奨学金等は、出発前に全額または半額を支給していますが、東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」については、留学レポートの提出等を支給要件にしており、プログラムへ滞りなく参加したこと、提出書類の確認して、奨学金を支給しています。
国際-30	板倉キャンパスで、TOEIC等の語学検定試験の開催を増やしたり、試験会場として活用させてほしいです。	全学で実施する語学試験（TOEIC等）は年間の実施上限回数が決まっており、なるべく多くの学生が受験できる日時・場所を設定しているため、白山キャンパスでの実施が多くなっています。全学の試験のほか、学部主催の語学試験も実施していますので、ご活用ください。

No.	質問・意見	フィードバック
国際-31	TOEIC対策の講座を無料にしてほしいです。	TOEIC対策をはじめとした資格試験対策講座は、講座開講に係る経費の多くを大学が負担しているため、民間のスクール等に通うよりも安価で受講することができます。また、講座の9割以上を出席しテストを受験した学生へは、褒章として図書カードを差し上げています。
国際-32	留学の募集をもっとわかりやすくしてほしいです。	学生の皆さんにとって分かりやすく情報を配信できるように改善します。また国際教育センターでは、オンラインで留学相談（留学カウンセリング）を実施しています。国際教育センターのウェブサイトより予約ができますので、ぜひ利用してください。 ・留学カウンセリング予約 https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/ryugaku-counselling/
教育-1	授業への出席を重視してほしいです。	シラバスに記載されているように科目によって成績評価の方法は異なります。しかし、出席率が2/3以上でないとは不合格になり、また成績評価に出席点を含めることはできません。
教育-2	授業科目の抽選を検討してほしいです。	履修を希望する学生が教室の収容人数を上回った場合、抽選となり履修出来ない場合があります。コンピューターで抽選を行っているため、落選した科目を再度履修した希望した場合、確実に当選させるというようなことは出来ませんが、コース数の見直しや、曜日時限の変更を行い、抽選科目を減らすよう調整しております。
教育-3	他学部、他学科の授業をもっと履修できるようにしてほしいです。	各学部・学科は、ある程度履修に自由度を持たせつつも、学位に則した体系性のある教育を行う必要があります。そのような観点で全ての科目を自由に履修できる仕組みは、制度上難しい状況にあります。ただし、卒業単位に含めなくて良い場合は、履修上限まで履修をすることが出来る「自由科目制度」というものがありますので、ぜひ活用してください。
教育-4	祝日休みにしてほしいです。	文部科学省「大学設置基準」にて1単位あたりの学修時間を45時間と定めております。それに基づき、本学では標準的な授業実施形態は、セメスタ制にあっては毎週1回90分を15週で実施とし学年暦を設定しております。極力、祝日避けるよう設定はしておりますが、学修時間の確保という点や、入試や学園祭といった行事等により、日程も制限されるため、祝日の授業実施につきましてはご理解頂ければ幸いです。
教育-5	教務課窓口の対応を改善してほしいです。	不快な思いをさせましたことお詫びいたします。いただいたご意見を、課内でも情報共有しつつ改善してまいります。
教育-6	少人数制のゼミを開講してほしいです。	定期的なカリキュラム改訂を行っております。（4年に1度を目安）今回、カリキュラムの要望につきまして学部全体に及ぶもの、学科に関するもの、資格に関するもの等、幅広く意見をいただきました。これらの意見を学科にも情報共有し、分析等を行い次々回以降のカリキュラム検討の材料とさせていただきたいと思います。
教育-7	グループワークでの学習を増やしてほしいです。	学生同士の交流の機会を増やすという観点からもグループワークは有効だと思います。ゼミナールや演習科目で、これまでできるだけグループワークの時間を増やすように配慮してきています。履修者数があまり多くない専門科目でもグループワークをできるだけ取り入れるよう学科で検討しています。
教育-8	授業の理解を深めるためテスト勉強のためのプリントなどを出してほしいです。	大学での勉強に熱意を感じられるコメントで、ありがとうございます。ぜひ、授業を担当している先生にお願いしてみてください。
教育-9	専門科目をもう少し深く学びたいのですが、少し内容が薄いと思います。	大変意欲的なコメントをありがとうございます。経済学は段階的に学ぶことが大事な学問です。カリキュラム上、1年生は基礎を学ぶことに重点を置いていますので、複数の授業で似たような内容が出てきたかもしれません。それは知識を定着させることが狙いであることをご理解ください。2年生からは多くの専門科目を履修できるようにカリキュラムを組んでいますので、是非チャレンジしてください。また、専門科目の教員に相談をしていただければ、更に理解を深めたい学生にアドバイスをしてくれると思います。授業後やオフィスアワー等を利用して、教員にアドバイスを求めてみてください。
教育-10	留学生の交流の機会を増やしてほしいです。	貴重なコメントをありがとうございます。経済学部では、留学生と日本人学生（または留学生同士）が交流を深める会を企画・実施していますので、そのような機会を活かして、ぜひ参加してみてください。

No.	質問・意見	フィードバック
教育-11	学生同士の距離を縮める機会を提供してほしいです。	総合政策学科ではゼミナールを1年から4年まですべての学年で必修としています。ゼミナール活動では積極的に参加するほど学生間で議論を戦わせる機会が増えることになります。そのような活動の中から、お互いの考えや思考を深く知ることができ、人との距離は縮まっています。がんばってください。
教育-12	学生が主体的に参加できる授業の充実させてほしいです。	総合政策学科では、リーダーシップ論をはじめアクティブラーニングやグループワーク、ディスカッションなどをキーワードにした多くの科目があります。その中では学生が主体になって調べ、議論し合い、発表することが求められます。シラバスに授業内容が書かれていますので探してください。
教育-13	優秀な成績を収めている学生への経済的支援を増やしてほしいです。	経済学部では独自に2年生から4年生の成績優秀者を表彰しています。学生の学修意欲の促進を目指しているため、対象を広くしていますので、これからも頑張ってください。
教育-14	授業やカリキュラムの評価を良い成績（GPA）が取れたかではなく、卒業後の進路や卒業後の追跡調査で行うことが必要だと思います。	ご指摘もとてもです。大学の教育システムに対する深い洞察が感じられます。本学が定めたディプロマポリシーが適切であったかは、本学の卒業生が本学を経てどのような形でその後の人生を歩んでいらっしゃるかが、問われるべきであり、1科目の成績やGPAの良しあしだけで判断されるべきものではない点、ご指摘のとおりと思います。教育システム自体の評価をする際、留意していきたいと思います。
教育-15	出席に関する取り締まりを緩め、その分、課題を増やして、授業には学習に来る目的で出席させるようにしてほしいです。	この意見以外にも、私語、スマホなどの注意を厳しくなどの意見もありました。これらは、すべて、残念ながら学ぶ意欲のないと判断されかねない学生に対する不満です。そもそも、授業の評価は基本的に出席のみでは評価されないのが原則であり、出席は、単位認定上の前提です。意見者は、出席管理をせず、課題を増やせば、授業は課題を解くためには真剣に出るしかなくなり、授業時間に集中できない学生は、履修しないことになるとの意見であり、私語、スマホ、ゲームを授業中に行っている授業においては、たしかに効果的です。このことも、教員によるFD活動（教員による教授法・指導方法の研修）の題材として提供していきたいと思います。2020年度春学期は非対面授業となり、課題が多すぎるとの声が多く聞かれました。そのあたりのバランスのとり方も、併せて、今後の課題として認識しています。
教育-16	必修ではありませんが、3年生でゼミに入りたいです。また、卒業前に、外国人留学生のOBOGとの就職についての懇親会の機会があつあるとよいと思います。	ゼミへの所属に関しては、オープンゼミやゼミ紹介冊子で詳しい情報を提供しているので、そちらでご確認ください。外国人留学生のOBOGを招いて就活体験の懇親会を開くとなると、海外からOBOGを呼び寄せるなど高いハードルがあるので、実現可能かどうか、また法学部という単位で実施するのがふさわしいのかも含めて、今後検討したいと思います。
教育-17	就職や、将来に必要な考え方などを学べる機会などが1年生などにも提供されればいいかなと思いました。また、外部からの先生を呼んで話をしてもらおうという機会をもっと増やしたらいいかなと思いました。	法学部では、就職や将来に向けた学習の機会に関して、1年次の段階で「キャリアプランニング」「公務員基礎法」「法学基礎演習」「法学入門」での授業やPROGテストの実施など様々な形で提供しており、これらの授業では、ときに外部講師を招いてお話をしてもらっています。

No.	質問・意見	フィードバック
教育-18	法学部をさらに国際化してほしいです。	現在法学部で行っている国際化の取り組みについて紹介します。 (1) スーパーグローバル大学事業採択後に留学生の数が増加しました。交換留学生等も増えました。法学部では日本人学生と留学生との交流を促進するべく、2019年度に留学生懇談会を開催しました。多くの日本人学生も参加をしました。 https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/news/academics/faculty/law/20191127/ (2) 授業科目について、ネイティブの教員が授業を行うグローバルリーダープログラム設置されています。2020年度履修要覧90ページ参照してください。ネイティブの教員がFA（ファカルティアドバイザー）を担当しています。それ以外にも、英語で行う専門科目を開講しています。 【3・4年次】「Intellectual Property in the US」「Business Communication」「Practical Contract Drafting」】【2年次】「Fundamental Concepts of International Politics」「Fundamental Concepts of Peace Studies」「International Law」【1年次】「Making of the Modern World」「Comprehension」「Presentation」等の英語で行う授業を開講しています。 (3) 短期海外研修として、トロント大学、パイロイト大学、ロンドン大学等の学部独自のプログラムを用意しています。これらのプログラムには法学部の教員が引率します。また、海外研修に参加した学生に学部独自の奨学金を設定しています。 (4) 語学検定合格者について検定料を補助するとともに法学部長が表彰することにより学生の皆さんの学習意欲を高めます。 (5) 海外短期教授招聘制度等により海外の研究者を学部で招聘し、法学部の授業で学生へ海外の法情報を提供するとともに研究の国際化を推進しています。 (6) 上記以外にも全学の国際化プログラム等との併用ができますので活用してください。
教育-19	専門授業をもう少し少人数化してほしいです。	法学部の必修科目は1コースが150名になるようにクラスの編成を行っています。また、その他の専門科目においても前年度の履修者の数等の推移を見ながら、増コース等の措置を適宜行っています。履修者を学科毎に指定している科目もあります。ゼミナールでも担当の先生方の判断で受講者数を選抜により一定数に制限を加えています。
教育-20	レポートや論文の書き方や、プレゼンテーションのやり方などを教えてもらえる場が増えると良いと思います。	1年次配当科目である「法学入門」ではテキストとして『法を学ぶパートナー』を使用し、初年次教育としてレポートの書き方等の指導をしています。同じく、1年次配当科目である「法学基礎演習」では、「法学入門」の内容を受けてレポートの書き方、レジュメの作成方法、プレゼンテーションの方法についてグループ学習等を行いながらより実践的な指導を行っています。「公共政策と法」等の授業でもグループワークを通してプレゼンテーション能力を涵養しています。加えて、法学部以外の対応として、ラーニングサポートセンターの取り組みとして法学レポートの書き方についても相談の対応を行っていますし、図書館でも法律文献の調べ方等のリーフレットも用意していますので活用してください。
教育-21	学習の相談やわからないところの質問をメールや専用のチャットでもできるようにしてほしいです。また、第2部法律学科でも法律に関心を持てるようなイベントを行ってほしいです。	教員のメールアドレスはToyoNet-Gを通じて公開されています。質問が思い付いたらメモをしておき、忘れないうちにメールを送るという方法が考えられます。また、授業によっては、授業の質問としてresponを活用したり、ToyoNet-ACE掲示板等を質問の場として開放している授業もあります。法学部の行事の一つとして、法学部長杯法律討論会があります。法律討論会は、立論の部、質問の部共に第1部学生・第2部学生を問わず参加することができます。また、無料法律相談部や模擬裁判実行委員会などの所属も学科を問わず参加することが可能で、これらのサークルでは法律相談や模擬裁判などのイベントに関わることができます。
教育-22	入学後、全部(または希望しているもの)の第二外国語の授業を受けてから、語学を選択できるようにしてほしいです。必修科目も担当の先生を選べるようにしてほしいです。	入学手続きのしおりや第二外国語の各シラバスなどで、各第二外国語担当教員より、当該第二外国語の特徴や学び方等に関して解説しています。これらの情報を踏まえて新入生（一年生）は、第二外国語を選択することを予定しています。複数コース開講している必修科目につき、各コースを履修者が選択できることとなると、複数コース間で履修者数の偏りが生じてしまいます。このことから、必修科目に関しては、学部として事前に受講者のコース配属を決めて運営するようにしています。

No.	質問・意見	フィードバック
教育-23	法科大学院についてのデータを手に入れやすくしてほしいです。また、相談できる窓口を教えてください。	今年度はコロナ禍のため実施できませんが、昨年度は法科大学院進学希望者向けの相談会を実施しました。今年度については、法科大学院についての相談がある場合、教務課に相談してもらえれば、相談に対応できる教員を紹介します。
教育-24	私はスポーツビジネス法コースがあるため入学を希望したのですが、そのようなコースがなく、スポーツに関して行うゼミも1つしかないようで、入学前の想定と差があるように感じました。	まず前提として、履修要覧でも説明していますが、法学部の「コース」はあくまでも「履修モデル」に過ぎません。各学生が自らの進路や関心に基づき、この履修モデルを参考にしながら、履修すべきと思う科目を選択し、実際に履修していく制度になっています。スポーツに関わるゼミに関しては、「教養演習ⅠＡＢ３・ⅡＡＢ３・ⅢＡＢ３」や「専門演習ⅠＡＢ３７・ⅡＡＢ３７」と、複数科目が設けられています。
教育-25	他学部のように3年生からではなく、2年生になった時点でゼミ分けがされるとよいと思います。1年生の時点で必修選択科目のA群を履修できるようにしてほしいです。	教育課程科目一覧表にも見られるように、法学部では、1年生「法学基礎演習」、2年生「法学演習」、3・4年生「法学専門演習Ⅰ・Ⅱ」のほか、「教養演習」も設けられており、すべての学年で充実したゼミ学修の機会が設けられています。カリキュラムマップにも見られるように、法律学は、学問の性質上、4年間にわたって、段階を追って学修することが求められます。確かに、1年次選択必修科目——1部企業法学科選択必修科目A群——は、「法学入門」と「法学基礎演習」にとどまりますけれども、これらの基礎的な科目を履修し終えた2年生以降段階で、1部企業法学科選択必修科目A群にあるような、より専門度の高い科目を履修することが、4年間にわたる学修全体の過程からして効果的な学修になります。
教育-26	第2部の科目を4・5限にも開講してほしいです。	第1部の開講科目を第2部の学生も履修できるように、「法学部1部・2部相互聴講科目」を設けています。また、5限の時間帯に第2部の学生用の科目も用意されています。
教育-27	もう少し主体的に取り組めるような授業を開講してほしいです。	主体的に取り組めるということが、ゼミのような演習科目を想定しているのであれば、1年次～4年次までに相当数の科目が開講されています。具体的には、1年次の法学基礎演習、2年次の法学演習、3・4年次の専門演習のほか、2年次以降は教養演習も履修できます。また、講義科目でも、履修者に報告を求めるものもありますので、シラバスを確認した上で履修して下さい。なお、主体性というのは履修者自身の取り組みの問題であり、受け身の姿勢でいては演習科目についても、主体的な取り組みは期待できません。
教育-28	大学院進学に関する支援を充実させてほしいです。また、同じ科目名の科目でも、履修できるようにするか、各授業の科目名を重複させないようにしてほしいです。	大学院進学については、年に2回土曜日に進学説明会が開催されています。なお、大学院進学を考えるのであれば、受け身で支援を待つのではなく、みずから情報を集めるなど、能動的な姿勢が望まれます。同一名称の授業科目については、単位認定の規定上履修することはできません（例：特殊講義など）。限られた授業科目に対して調整の上科目を設定していますが、今後もより良い履修ができるよう調整していきます。
教育-29	きちんと出席してる学生とサボっている学生とが、同等に扱われていると感じることがあります。また、どの授業も履修者数が多いと感じ、もっとグループワークをしたりプレゼンの力を身につけることのできる授業が増えればよいと思います。	受講人数が多い授業では、出席確認の作業だけで多くの授業時間が削られるため、授業時間の確保のために、毎回出席確認を実施できない場合があるかもしれません。しかし、サボっている学生は、要領よく単位を集めているように見えて、実際には、中途半端に出席して単位を落とすという無駄なことを繰り返しています。怠惰な学生が相応に低く評価されているのかを気にしても有益ではないので、自分の単位をしっかりとることに関心を集中することが大切ではないでしょうか。グループワークやプレゼンテーション能力を高める授業として、法学部には教養演習、2年次の演習や3～4年のゼミ、「公共政策と法」や「キャリアデザイン」という就職対策科目などが用意されています。特に専門演習は、ゼミや教員によって授業形式が大きく異なるので、グループワーク力やプレゼン力を高めたいのなら、そのための対策をしているゼミをシラバスやゼミ紹介冊子などで事前に調べて、自分に合ったゼミに所属し、ゼミ発表会や法律討論会といったイベントにチャレンジするとよいでしょう。
教育-30	発表する機会やアウトプットする機会を増やし、知識の定着や将来に向けての発表能力、プレゼン能力を上げられるような機会が参加できる時間に少ないので増やしてほしいです。	第2部生には、1年次の「法学基礎演習」、2～4年次の「法学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」が用意されており、全学年においてゼミを履修することができます。ゼミは少人数が基本であり、発表やアウトプットをする機会が少なくありません。また、開講時間帯は1部にはなりますが、「法学部1部・2部相互聴講科目」の中には、「公共政策と法」や「キャリアデザイン」など発表やアウトプットの能力向上を目指した科目もあります。
教育-31	図書館司書の資格が取れるようにしてほしいです。また、取得できる資格を増やしてほしいです。	諸資格は学位と関連する資格について、関連官庁等に申請し課程認定を受ける等により取得できるようになります。本学の各学部、学科の教育内容に関連の深い資格については取得できるようになっています。

No.	質問・意見	フィードバック
教育-32	英語授業の科目数を増やしてほしいです。また、英語の授業内容を高度にしてほしいです。	1部では必修4科目を含む10科目、2部では4科目の英語授業を配置しています。この他にも講義を英語で行っている科目もありますので、より英語力を高めたい学生は積極的な履修をお勧めします。
教育-33	授業科目を多様化させてほしいです。	教育課程は原則として4年に1度の見直しを行うため、いただいた意見をすぐに反映することは難しい状況です。ただ、学生からの率直な希望ということで次回の教育課程見直しの際には参考にさせていただきたいと思います。
教育-34	開講授業数が少ないと思います。少人数教育が多いことはよいことだと思いますが、もっと履修が可能な科目を増やしてほしいです。	1科目あたりの履修人数を引き上げること等を行い、学生の履修機会確保に向けて、学科として取り組んでいます。一方で、少人数教育が必要な科目等もあるため、科目の特性を含めて検討を行います。
教育-35	学内の案内の日英対応が行き届いていないと思います。もっと英語によるサポート体制を整えてほしいです。	英語による案内等が不足しており、申し訳ありません。今後も、英語による案内の充実を行ってまいります。不明な点等については、教務課窓口等にご相談ください。
教育-36	留学制度について、もっとわかりやすくしてほしいです。また、海外の大学ではどのような科目が取れるのか、また取得した科目が単位認定されるか等が分かるようにしてほしいです。	留学制度について、より情報をわかりやすく提供するように行う他、取得した単位の認定については、過去の実績等を元に、より具体的なアドバイスができるように準備しております。一方で、実際に派遣先の大学で行われる授業については、日本の大学も含めて年度ごとに開講科目の準備をしているため、すべてが事前に把握できるものではないことをご理解いただければと思います。
教育-37	英語で行う授業の科目数を増やしてほしいです。	英語で行う授業については、学生のニーズ（履修傾向）等も踏まえて、今後も開講科目数を検討していきます。
教育-38	1年生のうちから、専門的授業（観光系科目）を、より受けれるようにしてほしいです。	観光学は、学習内容が多岐にわたる学問分野となっております。より専門的な科目を学ぶためには、経済学・経営学・異文化理解など、背景知識の取得が必要不可欠です。国際観光学部では、1年次に「観光学概論」や基盤科目等を履修させることで、観光の基礎知識を学修します。2年次から更に専門的な内容を学修しますが、当該分野を学ぶうえで、背景知識を得てから学ぶことにより、学修をより円滑に進めることが可能です。
教育-39	より高いレベルの語学力をつけられるような授業をレベルにかかわらず受けられるようにしてほしいです。	必修の英語科目は、入学時のTOEICスコアを参考にクラス分けを実施しています。習熟度別に振り分けることで、スコア帯によって効率的に学修することが可能です。また、より向上心のある方向けに、選択科目として「Academic Writing」「Academic Reading」等の英語科目を用意しています。初習外国語（第二外国語）においては、入学手続時に実施しているアンケートを基に履修言語を決定しています。各言語のⅠ～Ⅳ、異文化理解を促進する「○○語圏の言語と文化」科目も用意していますので、あわせてご活用ください。なお、各言語は担当教員の許可を得れば、3つ以上の言語を履修・修得することも可能です。
教育-40	教務課と先生との連携を密にしてほしいです。	今後は、今まで以上に先生方と緊密に連携し同一認識の下、学生に迅速かつ適切に必要な情報を提供し、適格なアドバイスができるよう改善して参ります。
教育-41	履修者が多すぎる授業について、人数を減らしてほしいです。	学生の学修効果を考えて、必要に応じて複数クラスに分割するなど、次年度の時間割編成時に検討して参ります。
教育-42	国際観光学部は先生との距離が近くて良いので、もっと相談しやすい環境を作ってほしいです。	オフィスアワーの拡充や、それ以外の何らかの場を作ること検討して参ります。
教育-43	教職免許をとるための説明会などのお知らせを分かりやすくしてほしいです。掲示板やToyoNet-Gのみだと気づきにくいです。また、教職支援課の電話番号を常時公開してほしいです。	必要に応じてToyoNet-G等でもお知らせを配信していますが、教職課程の履修に必要な情報は、原則教職課程掲示板でお知らせしています。その他、必須となる説明会のスケジュールは履修要覧にも掲載されていますので確認してください。また、今年度からはToyoNet-Aceに教職課程履修者用のコースを立ち上げています。ご質問等も受け付けていますのでぜひ活用してください。なお、電話番号は、介護等体験や教育実習に参加する学生には説明会資料や日誌に記載して個別に伝えていきます。そのほかの方が緊急で教職支援課へ電話連絡を希望する場合は、大学の代表番号へ連絡してください。
教育-44	もう少し教員採用試験対策講座を充実させてほしいです。	骨太教師養成セミナー(10月～8月までの11か月間)のほか、東京アカデミー講師による筆記試験対策講座・模擬試験実施、教職支援室のアドバイザーによる自治体別の講座も随時開講しています。教職支援室でお知らせしていますので、確認してみてください。そのほか、具体的にこのような内容の講座を実施してほしいという希望があれば、アドバイザーとともに新規講座開講に向けて検討しますので、ぜひ教職支援室へ申し出てください。

No.	質問・意見	フィードバック
教育-45	必修科目を削減し、2部生でももっと教職科目を履修しやすくしてほしいです。	2部学生(3・4年生対象)には教職科目の1部開講科目特別履修の制度を設け、時間割重複により教職課程を断念することがないように対応しています。なお、大学の教職課程は、国が定める開設基準等に沿って開設されているため、大学判断により教職課程の開設科目を思うように削減することはできませんが、よりよい履修環境を構築するため、教育課程の編成については不断の見直しを行っています。
教育-46	無くすと免許が取れなくなる書類について、窓口での説明がわかりやすくしてほしいです。	教職支援課の対応が行き届いておらず申し訳ございませんでした。「無くすと免許が取れない」書類は、おそらく介護等体験証明書のことかと推察します。こちらの書類の扱いについては、介護等体験説明会2回と、要項配付会、介護等体験日誌、介護等体験証明書用紙本体、履修要覧などで、紛失した場合は免許状申請が行えない旨説明していますので、ご確認ください。
教育-47	教職支援課にどうしても対応してほしいと思い、連絡したところ入院が実習中などではないと対応できないと電話を切られてしまいました。また、介護等体験・教育実習のことを先生に相談したところ、相談に教職支援課に問い合わせるようにと言われました。	緊急時以外は電話での問い合わせを受け付けておりません。ご本人確認ができないこと、相談内容が入り組んでいるほどよく確認して対応が必要となるためです。実習中や体調不良時など事情がある場合は電話でも対応していますが、通常時は原則教職支援課窓口へ直接来課して問い合わせをするようにしてください。ただし、コロナウイルス感染拡大の影響等で大学入構禁止となっている期間は、電話やメール等でも問い合わせを受け付けています。 事務手続きに関することは、教員ではお答えしかねます。実習校や教育委員会によって対応が異なるなど、個別対応が必要なケースもありますので、教職支援課へ問い合わせてください。
学生生活-1	学生部で教室を取る際、朝1限目が入っている人は取れないという現状を改善して頂きたいです。ネットでスマホから、教室を取りたい人は申し込み、抽選を行って、教室が取れるようにしていただけるととても嬉しいです。	教室借用システムを導入する予定です（白山キャンパスから）。教室予約について、自宅からでも空き状況が確認でき、オンライン上（パソコン・スマートフォンから申請可能）で予約できるように検討しております。稼働までもう少しお待ちください。
学生生活-2	学生食堂の値段が高いです。6号館の学生食堂の値段を下げて、量も減らしたのもつくってほしいです。550円とそこそこ値段がある上に食べきれないので、利用しなくなった学生がそこそこ多いです。	6号館学食では、2019年10月に価格の見直しを行いました。それ以前に比べると価格を上げることになりましたが、理由としては、消費税の増税、食材費の高騰、人件費の賃上げがあり、それらを受けての価格設定となりましたことにご理解いただけますと幸いです。通常より少量で、低価格のメニューを求める声がありましたので、食堂側に提案いたします。これからもメニューに対するご意見をお聞かせください。
学生生活-3	学食が混んでいるので、席取りをやめさせてほしいです。	学食の空きスペースの都合上、増席が難しく、また、席の占有行為により、不快な思いをされていることと思います。今後も、巡回や掲示にて占有の禁止を呼びかけます。限られた席を不快な思いをせずに利用できるよう、ご協力の程お願いします。
学生生活-4	学生部や奨学金担当の対応を改善してほしいです。	学生さんからのご意見は真摯に受け止め、学生の皆さんが不快な思いをしないように、親身な姿勢で対応するように改善していきたいと思っています。奨学金の対応については、一般論ですが、事前に確認していただきたい資料等をお送りしても、何も確認をしないまま、窓口にいる学生さんが非常に多く、学生部としても頭を痛めているところです。学生さんの支援のために、どうしても急いで対応をしてもらうため、強めの対応となってしまうこともあります。今後、学生部としては、学生の皆さんの声を念頭に置き、丁寧な対応に努めて参りますが、学生の皆さんにも大学からの連絡には速やかに対応していただきたくご協力の程よろしく申し上げます。
学生生活-5	車椅子方や身体的に障害のある方などと、授業とは別に仲良くなりたいのですが、どう声をかけたらいいかわかりません。そういった方と交流できる場があれば、参加したいなと思います。	障がいのある学生支援の窓口は、ピアサポートルーム（6号館1階）です。障がいに関する理解促進のための各種講習会の開催や、学生さん同士のピアサポート活動を推進しています。ぜひ一度ピアサポートルームにお立ち寄りください。
キャリア-1	就職について不安があり、個別に相談したいです。	6号館1階の就職・キャリア支援室では、現在WEBにて個別相談を受付しております。詳細はToyoNet-Gにてご案内していますので是非ご利用ください。
キャリア-2	もっと講演会を開いてほしいです。	WEBによる開催も検討するなど、開催形式含めて今後検討させていただきます。
キャリア-3	キャリア支援をより充実させてほしいです。	今後検討させていただきます。
キャリア-4	就職キャリア支援課に相談に行った際に、専門的な職業の相談には乗ってもらえず、悩みが解決できませんでした。結局、外部の人に相談しました。	一部専門的な職業の相談には、当課の相談員でもアドバイスしかねることはあります。しかし、その場合でもどちらに相談すべきかのアドバイスはいたしますので、6号館1階の就職・キャリア支援室をご利用ください。

No.	質問・意見	フィードバック
川越-1	将来に向けた進路相談がもっと必要だと思います。	川越キャンパスでは就職・キャリア支援室（4号館3階）が進路相談を受付けており、各種就職支援行事も実施しています。将来に対する漠然とした相談でも受け付けていますので、1年生からでもお気軽にご利用ください。また、1・2年生からキャリアを考える行事としてPROG（アセスメントテスト）やインターンシップ講座、マナー講座、筆記試験対策講座も実施しています。各種支援行事は対象学年ごとに学内掲示及びToyoNetメールでお知らせしますので、積極的にご参加ください。
川越-2	大学院についてもっと説明がほしいです。	専攻毎に進学説明会を行っています。個別での問い合わせにも対応しています。
川越-3	各研究室でどのような活動、研究をしているのか、学科の掲示板やToyoNetなどを通じて公開してほしいです。	4年生から研究室配属になりますが、ACEに各研究室の紹介があります。学科にもありますが冊子にして紹介している場合もあります。また、研究室の紹介は会場を設けて説明会形式で行う学科もあります。
川越-4	高校までの数学ができていない人へのサポートしてほしいです。	基礎科目学習支援室にて対応（支援）しています。
川越-5	蜂の巣の駆除をもっと早くからやってほしいです。	川越キャンパスでは森林内を中心に、スズメバチの個体数増加を防止するため、女王蜂が営巣を開始する前の3月下旬から4月上旬にかけて、スズメバチ誘引捕獲器を約60個を設置して駆除に努めています。また、スズメバチの巣を発見した場合は、直ちに専門業者に駆除を依頼しております。
川越-6	昼食時に人が多すぎてほとんど座席がありません。この点について改善してほしいです。	12：10～13：10までの昼休時間はどうしても利用者が集中し、学生食堂が混雑する事になります。食堂業者には混雑時の迅速な対応を要望致します。また、昼休以外の時間帯は利用者が少ないため、食堂利用の平滑化が求められます。
川越-7	図書館でカラーコピーできるようにしてほしいです。	図書館設置のコピー機はカラー印刷が可能です。
川越-8	留学生として、日本人の学生さんとの交流をもっと広げたいと思いますが、日本の文化のためかもしれませんが、知らない人との交流は難しいです。もし何か活動があったら、お互いに話す機会ができて、友達となれると思います。	短期留学生の学生がいないため、頻繁な交流イベントは行っていません。季節ごとのイベント（クリスマス・ハロウィンなど）はGCSにて留学生・日本人学生、国籍に関係なく参加者を募り行っています。
川越-9	図書館にもう少し物語系の本を増やしてほしいです。	川越図書館では、毎年4,000冊以上の図書資料を購入しています。学部の専攻領域に関する専門書が中心となりますが、小説等の物語系の図書も購入しています。
川越-10	パソコン室の利用時間をもっと長くしてほしいです。	次年度に向け検討致しますが、パソコン室と同様である図書館PCコーナーの平日朝8:30直後、夜8時直前の利用者数からしますとこれを超える延長は難しい状況です。
川越-11	川越図書館の利用時間をもっと長くしてほしいです。	図書館では過年度から開館時間を段階的に延長し、現在は平日8:30-20:00としています。これ以上の延長は、人件費、光熱費の面で困難な状況です。定期試験期など、利用者が多い時期は休日開館を行って対応しています。
川越-12	川越キャンパス内に大手コンビニチェーンを出店してほしいです。	大手コンビニの出店については、コンビニ企業の出店計画等の方針もあるかと考えますが、将来、キャンパス内での施設の新築又は改修が計画された際には、要望事項として検討したいと考えます。
川越-13	電車の本数が増えてほしいです(鶴ヶ島駅にも快速や快速急行停まってほしいです)。	電車の本数増強や停車駅に関しては、鉄道事業者の経営判断によるものとなりますが、機会を見計らって大学の要望として伝えたいと考えます。
川越-14	就職が不安なのでそういうサポートがあったら嬉しいです。もしあったとしても全然情報がないので、もっとお知らせしてほしいです。	川越キャンパスでは、就職・キャリア支援室（4号館3階）が各種就職支援行事を実施しています。川越キャンパス独自の就職・キャリア支援行事は年間約50講座を実施しており、学部3年生・院2年生対象に春学期にはインターンシップ関連行事、秋学期には就職活動に向けて具体的な準備を始める就職活動支援セミナーを段階的に実施します。また、理系学生を採用する企業をお招きした学内企業説明会も実施しています。各種支援行事は対象学年ごとに学内掲示及びToyoNetメールでお知らせしますので、積極的にご参加ください。
川越-15	東洋大学にはイスラム教徒の学生もいるため、学生食堂でハラル食べ物が売られればいいと思います。	イスラム教徒の方が在籍されるとなった際にハラル料理提供について検討しましたが、調理場やコスト面での問題があり、学食での提供は困難でした。また、同時にキッチンカーでの提供も検討しましたが、川越の地理的に見合う業者がいなかったため、今後も状況に応じて継続的に検討していきます。
川越-16	トレーニングルームのフリーウエイトが体育会しか使えないので、一般の人でも使えるようにしてほしいです。	川越キャンパスのトレーニングルームでは、フリーウエイトは他の器具と比べて危険度が高いことや、適切に使用した場合でも人体に高負荷がかかるため、基礎体力のある「体育会所属学生」のみを対象としております。また、基本的にはフリーウエイト以外のトレーニング機器を使用しても十分にトレーニングが可能であり、学生の皆さんが安全に使用するためにもフリーウエイトの利用人数に制限を設け、現在の運用としております。

No.	質問・意見	フィードバック
板倉-1	授業に沿った参考図書などを紹介してほしいです。また、より多くの文献や資料に触れる機会を設けてほしいです。	シラバスに掲載し、授業がさらに充実するよう整備に努めます。
板倉-2	学内にATMを設置してほしいです。	板倉キャンパスの学生数では、ATM設置の基準に満たさないことからATMを設置することはできません。
板倉-3	廊下を明るくしてほしいです。	段階的に廊下の照明をLED化し、蛍光灯より光量を多くすることを計画しています。
板倉-4	生協を設置してほしいです。	生協の設置交渉をしていますが、利用者数及び流通の関係から設置は難しい状況です。
板倉-5	学内設置パソコンのWindowsアップグレードをしてほしいです。	2019年度にPC教室（2208,2209）、2207教室、図書館内コンピュータ commons の全てのパソコンのOSをWindows10としました。
板倉-6	SD/USBを用いてプリンタ出力ができるようにしてほしいです。	コピー代と同じ金額がかかりますが、図書館内のコピー機にSD/USBを用いて出力できる機能を追加する計画です。
板倉-7	スクールバスの運行本数、運転について充実させてほしいです。	現在、スクールバスは東武鉄道、秩父鉄道の到着時間を確認し、授業時間に間に合うよう無料運行をしています。増便や増コースに移行する場合は、運営上、受益者負担とさせていただかざるを得ません。スクールバスの運転については、運行委託業者に対し、乗客の安心・安全を守るべく、徹底した運転手教育を要請しています。
板倉-8	学生食堂のメニューを増やしてほしいです。	委託業者には、学生の皆さんの声を申し入れており、改善に向けた話し合いを続けています。
板倉-9	学生食堂を広くしてほしいです。	拡張することはできませんが、2019年度から、窓際にカウンターとハイチェアを置き、一人でも利用できる座席を設置しました。また、デッドスペースを生みぬよう、座席レイアウトを工夫しています。これにより座席数が増え、フレキシブルな座席利用が可能となりました。
板倉-10	男女のトイレについて識別がわかりにくいです。またトイレの設備について改善してほしいです。	男子及び女子トイレの識別をはっきりとわかるよう掲示をします。暖房便座については、省エネの関係から間引きにて設置しています。暖房便座は各個室の扉に掲示をしています。
板倉-11	喫煙所をなくしてほしいです。	板倉キャンパス内の喫煙所は、受動喫煙防止対策の観点から、非喫煙者と交流のない場所に喫煙所を設置しています。
板倉-12	空調について、適切な温度設定にしてほしいです。	冷暖房は、適切な温度となるように監視室にて対応を行っています。教室等の温度管理も定期的に確認していますが、体調に異変が生じるようであれば申し出てください。
板倉-13	授業中に私語が多い学生がいて困っています。	教員に対応いただくよう働きかけます。改善が見られない場合には事務課窓口までお知らせください。
板倉-14	参加型の授業を増やしてほしいです。	授業の体系は受動的なもののばかりではなく、学生が積極的に意見交換できる場を設けるよう教員に伝え、より良い学習環境の改善に努めていきます。
板倉-15	教科書が売り切れていることがありました。	売店には前年度の履修者数をもとに準備をお願いしています、学生間で受け取りに差が生じないように売店に検討を依頼します。
板倉-16	生物を基礎から教えてほしいです。また、補習環境を整えてほしいです。	勉強方法がわからない場合は、クラス担任や教務委員に積極的に相談しましょう。また、化学、英語、教職についてはラーニングサポートセンターに専門のアドバイザーが常駐していますので活用してください。
板倉-17	必修科目が多く、また実験の時間が長いため、レポートをまとめることが大変です。	各学科の知識を習得するために必要な必修科目や多くの実験を取り入れています。レポート等作成に困難な場合は科目担当教員に相談してください。
板倉-18	教員により授業内容に差があります。	履修者のレベルに合わせて授業を工夫していますが、さらに詳しい内容を学習したいときには積極的に科目担当教員に申し出てください。
板倉-19	国際化の推進、短期留学先を増やしてほしいです。	国際化は全キャンパス統一したプログラムを用意しています。また板倉キャンパスでは海外留学のための講義「留学のすすめ」他を用意しています。板倉キャンパスの学部独自のプログラムとしてはカナダでの研修を実施しています。その他多くの大学と協定を締結しています。その他不明な点は事務課窓口までお問い合わせください。
板倉-20	学生が学習に興味を持つような面白い授業がもっとたくさんほしいです。	科目担当教員は履修学生に合わせて授業内容を工夫して取り組んでいます。また、授業によっては外部講師を招いて行う授業もあります。その際は他学科の方も参加できる開かれた講義を行うことが多いので、学内の掲示等を参考に授業に参加してください。

No.	質問・意見	フィードバック
板倉-21	キャリア形成を育成するような授業を行ってほしいです。	板倉キャンパスでは1年生配当科目として「キャリアデザインⅠ」、2年生配当科目として「キャリアデザインⅡ」を開講している他、複数の科目では卒業生や外部識者を招いての講義等も実施しています。正課外では、3年次から「就職活動準備セミナー」をはじめとした各種就職支援行事を実施していますので積極的に出席してください。
板倉-22	バランスよく時間割を組んでほしいです。	複数の学部学科で科目の重なりがないよう調整しているため、1時限目から5時限目に科目を設置してることをご理解ください。しかし、より学生が履修しやすいようカリキュラムや時間割を調整する関係委員会にて検討を続けます。
板倉-23	他学部開放科目を増やしてほしいです。	他学部の学生も履修しやすいように科目を選定しているため科目数が限られています。より学生が履修しやすいようカリキュラムや時間割を調整する関係委員会で検討を続けます。
板倉-24	ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、レスポンを統括したアプリを作ってほしいです。	関係部局に提案し、学生のよりよい学習環境を整えるよう努めます。

No.	質問・意見	フィードバック
朝霞-1	学内Wi-Fiを設置してほしいです。	十分にWi-Fiを設置しており、増設しても朝霞校舎は構造的に難しい状況ですが、2021年度に赤羽台キャンパス移転後は改善されます。
朝霞-2	休講情報をネットや掲示板だけに掲載するのではなくメールでも送ってほしいです。	学生個人の履修に合わせて休講情報をメールをすることはできません。ToyoNet-Gで掲載された休講情報は授業が始まる前までに各自で確認してください。
朝霞-3	行事の予定日が毎回ギリギリで掲示されるので、予定を合わせることが出来ません。	年度当初（4/1）学生配付の時間割表で年間計画を提示し、かつ日程が近づいた段階（概ね1～2ヶ月程度前）で学生への再周知を目的とした掲示を掲出しております。日程の変更は一切しておりませんので、各自でスケジュールを確認してください。
朝霞-4	授業のレポート課題をやってもそのレポートが良い書き方であるのかわからなくなってしまいます。自分がやったレポートの書き方が良いかまた、良いレポートを書くコツを教えてくれる場所があったら嬉しいです。	図書館1階のラーニングサポートセンターをご利用ください。開室日は本学HPで確認いただけます。朝霞キャンパスラーニングサポートセンター (https://www.toyo.ac.jp/academics/learning-sc/asaka/)
朝霞-5	就職・キャリア支援室をもっと大きな組織にしてほしいです。白山キャンパスのように充実した支援をしてほしいです。	ライフデザイン学部の学生が目指す就職先へのサポートがより充実できるように検討を行います。
朝霞-6	事務課の対応を改善してほしいです。	利用する学生の皆さんが不安等を感じないような窓口対応を今後とも心掛けてまいります。
朝霞-7	赤羽台にキャンパスが変わりますが、朝霞のようにスポーツを思いきりできる環境はあるのか、また今後そのような設備を充実させる予定はあるのか教えてください。	2021年に赤羽台へ移転した時点では、運動施設はありませんが、2023年に運動施設（体育館等）が完成する予定です。
朝霞-8	赤羽台キャンパスに移転するとのことですが、朝霞キャンパスのような憩いの広場の場を設けてほしいです。	赤羽台キャンパスには学生がくつろげるスペースとして、なかみち広場やトボテラスを設置予定です。
朝霞-9	ロッカーがなく荷物を常に持ち運ばなければならないことに加え、教室には机と椅子の間隔が狭く場所がないため床に荷物を置いていますが、雨の日で床が濡れている時は膝の上に抱えて授業を受けなければならない状態にあります。その点を改善していただきたいです。	スペースの関係上、ロッカーの配置は不可能なため、荷物の管理は個人にお願いをしております。雨の日は、入口に傘振りを設置しておりますので、雫を落として構内に入るご協力をお願いします。（清掃で床にモップを掛ける事も行っています。）
朝霞-10	喫煙所が減ってきているので増やしてほしいです。	健康増進法の改正を受け、2020年4月から敷地内での喫煙が全面的に禁止となりました。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
朝霞-11	治安を良くしてください。工房棟が汚くうるさいです。	警備員の巡回は増やしておりますが、貴重品の管理は、個人でお願いいたします。工房については、学生の皆さんが使う場所ですので、お互いに注意しあって利用してください。
朝霞-12	外国人留学生との交流や留学場所をもっと増やしてほしいです。キャリア支援室に通いやすい環境や場所に設置してほしいです。	図書館棟1階にECZ（English Community Zone）では、他学部の外国人留学生と交流を持てるイベントを企画して行っています。是非参加してください。キャリア支援室については、スペース上の問題から、現状の場所から移すことは不可能ですが、利用していただきやすい環境になるように努めてまいります。
朝霞-13	温度管理を改善してほしいです。授業に集中出来ないことがあります。	遠隔で教室の温度を管理しているほか、授業時間の合間も直接教室の温度を確認しておりますが、今後も注意して管理をしてまいります。
朝霞-14	アンケートによって、本当に学生の意見が反映されているのかわかりません。また、他キャンパスとの交流の機会がほしいです。	学生の皆さんから回答いただいたアンケートのご意見は、検討を行い、改善できるところから順次対応を行っております。他キャンパスとの交流の機会としては、課外活動に参加する、白山キャンパスなどで実施される講座やイベントに参加するなどすることで交流の幅が広がりますので、積極的にご参加ください。
朝霞-15	部活動の書類等の作成を行う、学生への負担を少し減らしていただけるとありがたいです。	課外活動の書類につきましては、必要最低限でお願いをしておりますので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。
朝霞-16	箱根駅伝壮行会を朝霞キャンパスでも行っていただきたいです。他キャンパスとの交流会などがあると嬉しいです。	選手の負担等を考慮し、白山キャンパスの壮行会の様子を各キャンパスにはライブ配信で行っています。また、応援横断幕の作成など、各キャンパスでイベントを行っておりますので、是非参加してください。
朝霞-17	学生食堂をもっと広くし、1人でも人目を気にせず食べれるスペースや、電子レンジを自由に使えるスペースがほしいです。また、安くて美味しいメニューを増やし、営業時間も伸ばしてほしいです。	学生食堂を広くすることは、座席数増も含め非常に難しい状況です。そのため、1人用のスペースは作ることが出来ません。電子レンジ設置については、検討してまいります。学生食堂のメニューや価格、営業時間について運営を依頼している業者と引き続き検討をしております。

No.	質問・意見	フィードバック
赤羽台-1	学生食堂をふやし、学生食堂の座席をふやしてほしいです。	2020年4月より、1階に新しい学生食堂が開店する準備を整えていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、学生が入構禁止となり、まだ開店に至っていません。今後、学生が安定して登校できる状態になった時には、現在の糖朝カフェに加えて、学生食堂が開店する予定です。また、2019年度に、2階スペースの座席数を増やしました。
赤羽台-2	個人で学習するためのスペースを増やしてほしいです。	2019年度末に80名規模の教室2室を増設しました。また、4年生については、セキュリティスペース内の研究室にて勉強をすることになります。また2020年度に、学生の学習スペースの増設を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、現時点では再度計画を見直しています。
赤羽台-3	図書館を設置してほしいです。	情報連携学部としては、当初の計画どおり、冊子体の図書館の設置は検討しておりません。ただし、今後の赤羽台キャンパスとしては、2021年度からのライフデザイン学部の移転に伴い、図書館が設置される予定になっています。
赤羽台-4	喫煙所をつくってほしいです。	キャンパスには未成年の学生もいること、非喫煙者の受動喫煙を防止すること、喫煙は大学生にとって望ましい生活習慣でないこと、などの理由から、現時点では喫煙所を設置する予定はありません。
赤羽台-5	学部内の授業の選択肢が少ないにも関わらず、他学部の授業を取る選択肢がありません。英語や第2外国語の授業があったほうが良いと思います。	学生に、カリキュラム・マップに則って体系的に学び、アドミッション・ポリシーに示した学修成果を確実に修得していただくというのが本学部の方針となっています。そのため、選択肢を増やすことは現時点では検討されていません。
赤羽台-6	毎週出題される課題のフィードバックがほしいです。	学部と協議いたします。

No.	質問・意見	フィードバック
図書館-1	本の貸出期限の延長できる回数を増やしてほしいです。	より多くの利用者に資料をご利用いただくことを考慮して延長回数を定めています。
図書館-2	図書館に文献や新聞、参考書などしかないのも、もっと様々な部類の本があると良いと思います。個人的には日本の名著や近年話題になった小説、賞を受賞した作品などがあってもっと利用したくなると思います。	学習・研究用資料の購入を優先しますが、話題になった小説類も購入しています。軽読書コーナーもご覧ください。話題の本は各館で購入することも多いので、他館からの取り寄せもご利用ください。
図書館-3	図書館のPCコーナーに座れないことが時々あり、また、マウスやキーボードも使いにくいいため、可能であれば、増大・入れ替えをしていただきたいです。	一部の館では昨年度末に新機種へ入れ替えを行いました。
図書館-4	図書室での飲食を可能にしてほしいです。	ペットボトルの持ち込みは許可しています。食事は食堂をご利用ください。
図書館-5	図書館入口の学生証リーダーはタッチ式にしてほしいです。	学生証がタッチ式ではありませんので、当面予定はありません。
図書館-6	図書館を日曜日や平日の夜もっと遅い時間まで開館してほしいです。	時間帯別の利用者数などから開館時間を定めています。試験期間前には日曜開館も実施いたします。
図書館-7	図書館で学生証がなくても入館できるようにしてほしいです。	学生証は本学の学生であることを証明する大切なものです。本学の施設を利用する際は必ず持参してください。
図書館-8	図書館の開館時間には、入館しないと返却できないため、授業の合間では返却に行くことが難しいです。	一部の館で開館中のブックポストへの返却を実施していませんでしたが、今後検討いたします。
図書館-9	赤羽台キャンパスにも電子資料だけでなく本を置いてほしいです。	2021年度には図書室を、2023年度には図書館を設置予定です。
情報-1	パソコン環境が古いので、起動など性能改善してほしいです。	年次計画において、順次最新のものへ更新をしていきます。
情報-2	パソコンの台数を増やし、混雑への改善をしてほしいです。	今後はBYOD環境を整えていく計画を進めています。
情報-3	ソフトウェアのバージョンが揃っていないことがります。	メンテナンス等に配慮します。
情報-4	Wifiの接続状況を改善してほしいです。	年次計画的に、電波状況等、Wifi環境の改善に取り組んでいます。
情報-5	Wifiをより使いやすく改善してほしいです。	セキュリティ確保、及び通信の安定化などを考慮し、利用環境を整えています。昨年度、toyowifiサービスをスタートし、利用方法の改善を実施しました。今後も、より使いやすい環境整備に努めます。
情報-6	Wifiの性能を向上させてほしいです。	2020年夏から、wifiの規格を5から6への変更する取組を進めています。
情報-7	情報通知を充実させてほしいです。	2020年3月にデジタルサイネージシステムを新しくしました。さらに4月から、スマートフォンアプリ「東洋大学ポータル」をリリースし、時間割情報、休講情報、デジタルサイネージ情報、シラバス、ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、学生ハンドブックへのアクセスが簡単になりました。
その他-1	もっとボランティア活動をしたいです。また、気軽に参加できるボランティアがもっとあればよいと思います。	ボランティアに関する情報は「ボランティア支援室」にて取り扱っております。本学で活動する学生団体の情報や自治体等からのボランティア情報の閲覧、ボランティアに興味を持つ学生さんを対象に様々なイベントや交流会、講座等を定期的に開催しています。 2020年8月現在、コロナウィルス感染拡大防止のため閉室となっておりますが、ご自宅でもできるボランティアの紹介や、オンライン窓口「しゃべり場」の開設、ボランティアカフェ、ボランティア入門などオンラインで多くの講座を開講中です。 コロナ禍で学生が社会的な活動ができない状況下、収束後に活動するために力を蓄える時期であるということを考え、社会問題を考えるなど多くの学びを提供しています。 イベント等の詳細は、ToyoNet-ACEの「ガクチカ サプリ」にて随時発信しておりますので是非アクセスしてください。また、専門のスタッフも在籍しており、個別のアドバイスも受けられます。対面授業が再開されました際はご来室をお待ちしています。 現在、対面での活動は原則禁止となっておりますがリモートでのボランティア活動も行われています。東京ボランティア・市民活動センターのサイト(https://www.tvac.or.jp/special/rimobora/)を参照してみてください。 ボランティア支援室：https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/social-partnership/csc/volunteer/